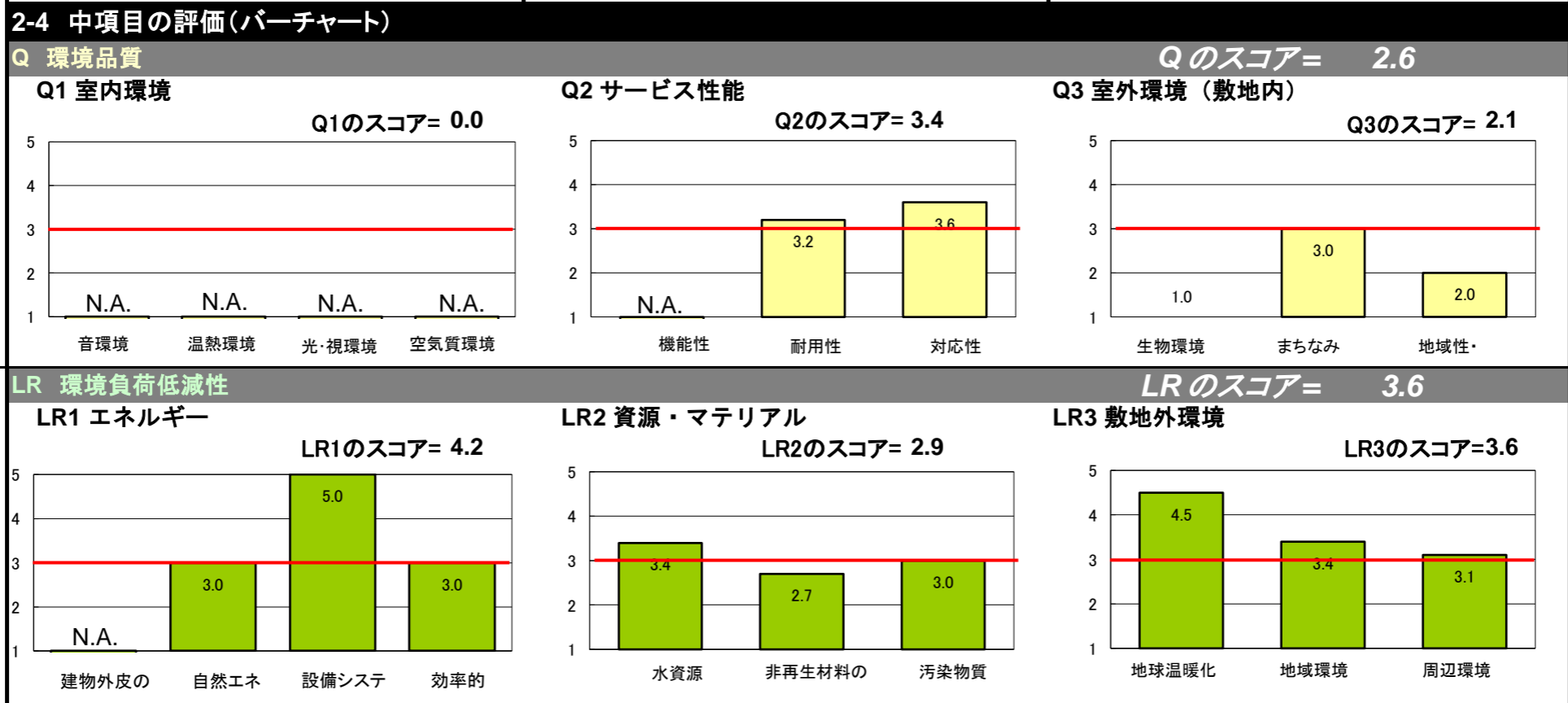
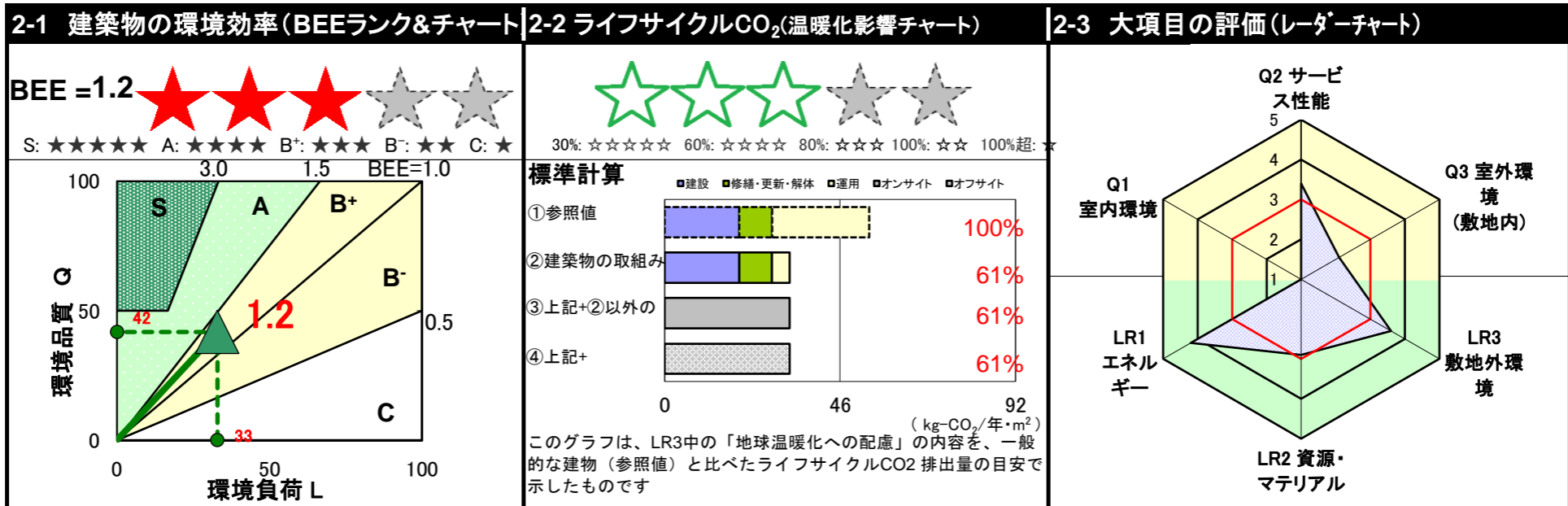


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社輸送センター 大口物流センター	階数	地上4階
建設地	愛知県丹羽郡大口町上小口二丁目177番 他22筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火地域指定なし	平均居住人員	13人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,214時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年6月25日
敷地面積	12,548 m <sup>2</sup>	作成者	齊木俊介
建築面積	6,596 m <sup>2</sup>	確認日	2020年6月25日
延床面積	16,815 m <sup>2</sup>	確認者	齊木徹



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>4.5</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>21.6 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.1</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
			評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.6</b>		
<b>Q1 室内環境</b>										
<b>1 音環境</b>										
1.1 室内騒音レベル			3.0	-	-	-	-	-		
<b>1.2 遮音</b>										
1 開口部遮音性能			-	-	-	-	-	-		
2 界壁遮音性能			-	-	-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-	-	-		
<b>1.3 吸音</b>										
<b>2 温熱環境</b>										
<b>2.1 室温制御</b>										
1 室温			3.0	-	-	-	-	-		
2 外皮性能			3.0	-	-	-	-	-		
3 ゾーン別制御性			3.0	-	-	-	-	-		
<b>2.2 湿度制御</b>										
<b>2.3 空調方式</b>										
<b>3 光・視環境</b>										
<b>3.1 昼光利用</b>										
1 昼光率			3.0	-	-	-	-	-		
2 方位別開口			-	-	-	-	-	-		
3 昼光利用設備			3.0	-	-	-	-	-		
<b>3.2 グレア対策</b>										
1 昼光制御			5.0	-	-	-	-	-		
<b>3.3 照度</b>										
<b>3.4 照明制御</b>										
<b>4 空気質環境</b>										
<b>4.1 発生源対策</b>										
1 化学汚染物質			3.0	-	-	-	-	-		
<b>4.2 換気</b>										
1 換気量			3.0	-	-	-	-	-		
2 自然換気性能			3.0	-	-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	-	-	-	-	-		
<b>4.3 運用管理</b>										
1 CO <sub>2</sub> の監視			3.0	-	-	-	-	-		
2 喫煙の制御			3.0	-	-	-	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>								<b>0.43</b>		
<b>1 機能性</b>								<b>3.4</b>		
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>										
1 広さ・収納性			3.0	-	-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応			3.0	-	-	-	-	-		
3 バリアフリー計画	独自		3.0	-	-	-	-	-		
<b>1.2 心理性・快適性</b>										
1 広さ感・景観 (天井高)			3.0	-	-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース			3.0	-	-	-	-	-		
3 内装計画			3.0	-	-	-	-	-		
<b>1.3 維持管理</b>										
1 維持管理に配慮した設計			3.0	-	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保			-	-	-	-	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>								<b>3.2</b>		
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>										
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			0.4	3.0	0.48	-	-	-		
2 免震・制震・制振性能			3.0	3.0	0.80	-	-	-		
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>										
1 躯体材料の耐用年数			0.3	4.0	0.33	-	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②	吹付けタイル:40年	-	3.0	0.23	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:長尺塩ビシート→20年,壁:ビニルクロス張り→20年,化粧石膏ボード→30年	-	5.0	0.23	-	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		外部露出ダクトにSUSダクトを採用	-	5.0	0.09	-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水/塩化ビニール管(HIVP):B,排水/VP:B,冷媒/被覆銅管:C	-	4.0	0.08	-	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			-	5.0	0.15	-	-	-		
7 主要設備機器の更新必要間隔			-	3.0	0.23	-	-	-		
<b>2.4 信頼性</b>										
1 空調・換気設備			0.1	2.6	0.19	-	-	-		
2 給排水・衛生設備			3.0	3.0	0.20	-	-	-		
3 電気設備			3.0	2.0	0.20	-	-	-		
4 機械・配管支持方法			3.0	3.0	0.20	-	-	-		
5 通信・情報設備	②		3.0	2.0	0.20	-	-	-		

3 対応性・更新性				0.4	3.6	0.48	-	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			②	0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり	主要な階高:7.0m		-	5.0	0.60	-	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.1		3.0	5.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性				0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性			-	3.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	3.0	0.22	-	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57	-	-	-	2.1	
1 生物環境の保全と創出			独自③	-	1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	-	3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.0	0.30	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④	-	2.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	3.6	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	4.2	
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	-	-	-	-	-	
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.13	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化				[BEIm]=0.18	5.0	0.63	-	-	5.0	
4 効率的運用				0.2	3.0	0.25	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-		
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング				-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	2.9	
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	3.4	
1.1 節水				3.0	4.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	2.7	0.63	-	-	2.7	
2.1 材料使用量の削減				-	2.0	0.07	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.25	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			②	-	3.0	0.21	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			独自	-	3.0	1.0	0.21	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自	3.0	4.0	0.25	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22	-	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68	-	-		
1 消火剤				-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)				-	3.0	0.50	-	-		
3 冷媒				3.0	3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	3.6	
1 地球温暖化への配慮			①	-	4.5	0.33	-	-	4.5	
2 地域環境への配慮				0.3	3.4	0.33	-	-	3.4	
2.1 大気汚染防止				-	5.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				-	3.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	2.7	0.25	-	-		
1 雨水排水負荷低減			独自	-	3.0	0.25	-	-		
2 汚水処理負荷抑制				-	3.0	0.25	-	-		
3 交通負荷抑制			独自	-	4.0	0.25	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制				-	1.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮				0.3	3.1	0.33	-	-	3.1	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-		
1 騒音			独自	-	3.0	1.00	-	-		
2 振動			独自	-	-	-	-	-		
3 悪臭				-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-		
1 風害の抑制				-	3.0	0.70	-	-		
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制				-	3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制				0.2	3.7	0.20	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				-	4.0	0.70	-	-		
2 屋光の建物外壁(による反射光(グレア)への対策				-	3.0	0.30	-	-		

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>4.5</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.5	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.1</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.2	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:21.64%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)		<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (株) マルト輸送センター 大口物流センター

計画上の配慮事項	
総合	大口町に建設される倉庫である。 高効率な設備機器の導入、節水器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮している。
Q1 室内環境	
Q2 サービス性能	・耐用年数の長い内装材・外装材の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	・特になし
LR1 エネルギー	・LED照明を導入している。
LR2 資源・マテリアル	・節水器具の採用により、水資源保護に配慮している。 ・躯体と仕上材が容易に分別可能な構造とし、非再生性資源の使用量削減に配慮している。
LR3 敷地外環境	・十分なスペースの駐車場を確保し、渋滞緩和に配慮した交通計画としている。 ・屋外広告物照明は設置せず、周囲への漏れ光に配慮した照明計画としている。
その他	-